

【会議結果報告】

令和4年度長崎県福祉サービス第三者評価推進会議、認証委員会及び基準等委員会

日 時	令和4年6月29日（水）13時30分～15時10分		
場 所	県庁3階311号室		
出席者	碓委員、大石委員、佐藤委員（委員長）、谷委員、鶴田委員、中野委員（会長）、廣瀬委員、藤井委員、峯委員、荒木委員、毛利委員、山崎委員		
事務局	長崎県福祉保健課		
出席部局	長崎県監査指導課、長崎県長寿社会課、長崎県障害福祉課、 長崎県こども未来課、長崎県こども家庭課		
公開状況	傍聴	可	結果公表 会議概要公表
議 題	【推進会議】 ①会長並びに各委員会委員及び委員長の選任について ②福祉サービス第三者評価事業の推進に向けた取組みについて ③福祉サービス第三者評価事業にかかる国の動向について ④受審済み事業所等へのアンケート結果について 【認証委員会】 第三者評価機関の認証について 【基準等委員会】 ①利用者調査様式（児童館 子ども用）の改定について ②利用者調査様式（救護施設、放課後児童クラブ）の策定について		
議事概要	【推進会議】 ①会長並びに各委員会委員及び委員長の選任について ・互選により、会長並びに各委員会委員及び委員長が選任された。 ②福祉サービス第三者評価事業の推進に向けた取組みについて （主な意見） ・熊本県は人口に対して受審施設数が多い。熊本県の取り組みを教えてほしい。 ③福祉サービス第三者評価事業にかかる国の動向について （主な意見） 意見なし ④受審済み事業所等へのアンケート結果について （主な意見） ・法人監査の緩和はありがたいが、受審料や受審のための事務処理が負担となっている。監査の緩和だけでなく、受審料や事務負担の軽減も含め現場の意見を聞きながら、今後の対応を検討していただきたい。 ・アンケート結果を見ると受審施設からは前向きな意見が多いため、より良いサービスを提供するために必要な事業であるが、受審率が1割を超えていないため、広く周知する必要がある。 ・一方で、受審するための事務負担が大きいと聞いている。小さい事業所では対応が難しいところもあるため、事業所の規模により評価方法を変える必要があるのでは。 ・受審率が伸びない理由等はアンケート結果から分析を行っているため、他県と比較してどうかなどを確認する必要があるのでは。また、制度改正等の際に、どの程度まで県の裁量で行えるのかも確認しておきたい。 ・保育協会では人口減少対策に取り組んでいるが、受審義務化となれば事業所によっては厳しいところもあり、経営的にも難しくなる。人口減少の面も踏まえて今後の対応を検討いただきたい。 【認証委員会】 第三者評価機関の認証について ・委員会へ審議を図った1件の更新評価機関について、更新が認証された。 【基準等委員会】 ①利用者調査様式（児童館 子ども用）の改定について ・職員の呼称（児童館の人）を再検討することとし、その他は、事務局案とおり承認された。 ②利用者調査様式（救護施設、放課後児童クラブ）の策定について ・救護施設様式について、おおむねかみ砕いた質問となっているが、「生活訓練」・「機能回復」・「就労」などの表現ももっと分かりやすい表現へ修正したほうがよいのでは。 ・「理念や方針」についても分かりやすい表現へ修正したほうが良いのでは。 ・おおむね事務局案のとおりとするが、細かい表現などは再検討のうえ、再度委員へ意見を伺うこととされた。		